

アンケート調査ご協力をお願い 男女共同参画に関する市民意識調査

日頃より男女共同参画施策の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、市民一人ひとりがお互いを大切に、性別にかかわらず個性を輝かせて生き生きと暮らすことのできる「男女共同参画社会」の実現を目指して、男女共同参画基本計画（第四次）を策定し、様々な取組みを進めています。

本調査は、この取組みを更に充実させるため、満18歳以上の市民の方3,000人を無作為に選びご意見をお伺いすることで、次期基本計画の基礎資料とするものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和2年9月

前橋市長 山本 龍

記入や提出方法等についてのお願い

1. 封筒のあて名のご本人がご記入ください。ご本人による記入が難しい場合は、ご家族が回答を聞き取るなど、記入の補助をお願いします。
2. アンケートの回答については、次の①・②のどちらかの方法をお願いします。
 - ①このアンケート用紙に直接記入して回答（同封の返信用封筒により返送）
 - ②WEBを利用して回答（パソコン、スマートフォン、タブレットから回答可能）

WEB回答の方法

■右の二次元コードをお持ちのスマートフォンなどに読み取っていただくと、自動的にアンケートの回答ページにアクセスできます。



■直接次のURLを入力してもアクセスできます。

(二次元コード)

https://s-kantan.jp/city-maebashi-gunma-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=1863

3. アンケート用紙に記入していただく場合は、濃い鉛筆か黒または青のボールペンでご記入ください。ご記入いただいた用紙は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**9月28日(月)まで**にご投函ください。
4. アンケート集計結果は、前橋市のホームページ等でお知らせする予定です。

<問い合わせ先>

前橋市 市民部 生活課 男女共同参画センター

電話 027-898-6517 FAX 027-221-6200

E-mail: sankaku@city.maebashi.gunma.jp

男女平等について

問1 今の生活や社会の状況は、男女平等になっていると思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

項目	男性のほう が優遇されて いる	どちらか といえば 男性が優遇 されている	平等 である	どちらか といえば 女性が優遇 されている	女性のほう が優遇されて いる	わからない
① 家庭生活	1	2	3	4	5	6
② 地域社会の場	1	2	3	4	5	6
③ 職場	1	2	3	4	5	6
④ 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
⑤ 政治の場	1	2	3	4	5	6
⑥ 法律や制度上	1	2	3	4	5	6
⑦ 社会通念・慣習・ しきたりなど	1	2	3	4	5	6
⑧ 社会全体	1	2	3	4	5	6

問1-1 「⑧ 社会全体」の項目で、「男性のほうが優遇」「どちらかといえば男性が優遇」と答えた方にお聞きします。社会全体の中で、男性のほうが優遇されている原因は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 男女の性別役割分担についての社会通念・慣習・しきたりが根強い
2. 仕事優先、企業中心の考え方が根強い
3. 男女平等について、男性の問題意識が低い
4. 男女平等について、女性の問題意識が低い
5. 男女の差別を人権問題としてとらえる意識が低い
6. 女性が能力を発揮できる環境や機会が十分ではない
7. 能力を発揮している女性を正当に評価する仕組みが十分ではない
8. 育児、介護などを男女が共に担うための制度やサービスなどが整備されていない
9. 女性の意欲や能力が男性に比べて劣っているという考え方がある
10. その他 ()
11. わからない

女性の人権について

問2 女性の人権が尊重されていないと感じるのはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 「男は仕事、女は家庭」という考え方
2. 職場における待遇（採用・昇格・昇進・賃金など）の男女格差
3. 配偶者や交際相手からの暴力（DV：ドメスティック・バイオレンス）
4. 理工系分野の学習の機会と進路選択における男女の差
5. セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）、マタニティ・ハラスメント
6. ストーカー行為、痴漢行為、その他の性被害
7. 売春、買春、援助交際
8. 内容に関係なく、女性の水着やヌード写真などを用いた広告物の掲出など
9. 女性の容姿を競うコンテスト
10. その他（)
11. 特にない

問3 新聞・雑誌・テレビ・インターネットなどのメディアにおける性や暴力（DV等）の表現について、どのように思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 女性の性的な側面を強調しすぎる
2. 社会全体の性に関する道徳観・倫理観を損なう
3. 女性に対する犯罪を助長している
4. 見たくない人や子どもに対する配慮が足りない
5. 女性のイメージや男性のイメージについて、偏った表現をしている
6. その他（)
7. 特に問題はない
8. わからない

問4 女性の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 法律・制度の制定や見直しを行う
2. 「男は仕事、女は家庭」などの固定的な性別役割分担意識を変えるための啓発活動
3. 各種審議会や管理職など、様々な意思決定や方針決定の場への女性参画の促進
4. 男女平等や性に関する教育の充実
5. 女性の人権相談窓口や支援体制の充実
6. 男女が共に家庭と仕事を両立できる支援策の充実
7. DV等の暴力から女性を守るための支援体制の充実
8. 女性の就労機会の確保や職場における男女の均等な処遇への働きかけ
9. その他（)
10. 特にない
11. わからない

問5 これまでに配偶者や交際相手などから、次にあげるような暴力を受けたことがありますか。
(○はそれぞれ1つずつ)

項 目	何度もあった	1、2度あった	まったくない
① 命の危険を感じるくらいの身体的暴力（なぐる、けるなど）	1	2	3
② 医師の治療を必要とするくらいの身体的暴力	1	2	3
③ 医師の治療を必要としないくらいの身体的暴力	1	2	3
④ 精神的暴力（おどす、無視する、人格を否定するような言葉を言う、交友関係や行動を監視するなど）	1	2	3
⑤ 性的暴力（性行為や中絶を強要する、ポルノ雑誌などを無理に見せる、避妊に協力しないなど）	1	2	3
⑥ 経済的暴力（生活費を渡さない、働くことを妨害するなど）	1	2	3
⑦ 子どもを利用した暴力（子どもの目の前での暴力・暴言など）	1	2	3

問5-1 「何度もあった」「1、2度あった」と答えた方にお聞きします。
これまでに、だれ（どこ）かに相談しましたか。 (○はどちらか1つ)

1. 相談した	2. 相談しなかった（できなかった）
---------	--------------------

問5-2 相談したと答えた方
だれ（どこ）に相談しましたか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 警察
2. 公的機関
 - ア 群馬県女性相談センター
 - イ 前橋市配偶者暴力相談支援センター
 - ウ その他 ()
3. 民間の機関 ()
4. 医療関係者（医師、看護師等）
5. 家族・親族
6. 友人・知人
7. 学校関係者（教員、養護教員等）
8. その他 ()

問5-3 相談しなかったと答えた方
相談しなかった（できなかった）理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. どこに相談してよいかわからなかった
2. 人に知られたくなかった
3. 相談しても無駄だと思った
4. 相談したことがわかると仕返しをされると思った
5. 相談することによって自分が不快な思いをすと思った
6. 自分さえ我慢すれば、何とかやっていけると思った
7. 他人を巻き込みたくなかった
8. 被害を受けたことを忘れたかった
9. 自分にも悪いところがあると思った
10. 相談するほどのことではないと思った
11. その他 ()

学校教育について

問6 学校教育において、どのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 学校生活の中で、性別にかかわらず一人一人の個性や特性等を生かせるように配慮する
2. 生徒指導や進路指導等の場面で、性別にかかわらず個々の個性や特性等に十分に配慮する
3. 授業等で、男女が認め合い、尊重し合う大切さを理解するための学習を行う
4. 教職員に対して、男女共同参画を推進する教育に関する研修を充実する
5. 校長・教頭などに女性を積極的に登用する
6. 人権尊重の心を培う教育を充実する
7. 保護者会などからの情報提供を通じて、家庭や地域と連携し、男女共同参画を推進する教育について充実を図る
8. その他 ()
9. わからない

家庭生活について

問7 家庭生活に関して、次のことをどの程度行っていますか。(○はそれぞれ1つずつ)

項 目	する	時々する	ほとんど しない	しない	該当 しない
① 掃除	1	2	3	4	
② 洗濯	1	2	3	4	
③ 食事の支度	1	2	3	4	
④ 食事の片付け	1	2	3	4	
⑤ ごみ出し	1	2	3	4	
⑥ 日常の買い物	1	2	3	4	
⑦ 家計の管理	1	2	3	4	
⑧ 町内会や自治会等の地域活動	1	2	3	4	
⑨ 子育て	1	2	3	4	5
⑩ 学校行事やPTA活動への参加	1	2	3	4	5
⑪ 看護・介護	1	2	3	4	5

問8 平日、次のようなことに使う時間はどのくらいですか。

(全体で24時間になるように記入してください。)

1. 家事・育児・介護等の時間	1日当たり約	時間
2. 仕事・勉強の時間(通勤・通学時間を含む)	1日当たり約	時間
3. 家族とともに過ごす時間(上記1を除く)	1日当たり約	時間
4. 食事・入浴などの生活必需時間	1日当たり約	時間
5. 自分自身のための自由な時間	1日当たり約	時間
6. 睡眠時間	1日当たり約	時間

問9 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。(○は1つ)

1. 反対 2. どちらかといえば反対 3. どちらかといえば賛成 4. 賛成 5. わからない

問10 結婚・家庭に関する次のような考え方についてどう思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

項 目	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
① 結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい	1	2	3	4	5
② 結婚はしたほうがよいと思う	1	2	3	4	5
③ 結婚してもうまいかなければ離婚してもかまわない	1	2	3	4	5
④ 結婚しても、子どもを持つことにこだわらない	1	2	3	4	5
⑤ 同性同士の結婚も社会的に認められるべきである	1	2	3	4	5
⑥ 子どもは、「女の子の服はピンク、男の子はブルー」などのように、“女らしさ、男らしさ”を押しつけることなく、個性を尊重して育てるほうがよい	1	2	3	4	5
⑦ 子どもの性別によって受けさせる教育に差が出るのは仕方がない	1	2	3	4	5

子育て・介護について

問11 子育ての経験がある方のみお答えください。子育てについて、何か不安に思うことや困ったことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの病気や発育
2. 子育てに伴う経済的負担が重い
3. 子どもと過ごす時間や会話が少ない
4. 家族が子育てに協力しない
5. 子育てについて相談相手がいらない
6. 子育てに対する職場の理解が少ない
7. 子育てに対する地域や社会の理解が少ない
8. 子育て支援サービスの種類・量（保育時間など）が足りない
9. 子育て支援サービスに関する情報が不足している
10. その他（ ）
11. 特になし

問 1 2 全員にお聞きします。安心して子どもを生み育てられる環境を整えるには、主にどのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 保育施設・保育制度（延長保育や病後児保育など）の充実
2. 地域子育て支援センターなど、仲間づくりができる場所の充実
3. 放課後児童クラブ（学童保育）などの子育て支援の充実
4. 近所の人たちからの支援
5. ファミリーサポートセンター事業の充実 ※注
6. 公的な経済援助の充実（児童手当、乳幼児の医療費補助など）
7. 父親の子育て参加
8. 育児に対する家族の理解と協力
9. 男女共に家庭と仕事の両立を図れる制度の充実（育児休業、時差勤務など）
10. 職場の理解と協力
11. 出産や子育てに関する不安・悩みに応える講座や相談の充実
12. ひとり親家庭の支援
13. 児童館などの子どもの遊び場の確保
14. その他（)
15. わからない

※注 ファミリーサポートセンター事業：「子育ての手伝いができる人」と「子育ての手助けをしてほしい人」が会員登録し、子育てに関する様々な援助活動を行う事業

問 1 3 男性の育児休業・介護休業を取得することについて、どう思いますか。（○は1つ）

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対
5. わからない

問 1 4 男性が育児や介護に積極的に参画するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 長時間労働の改善など、働き方の改革
2. 男性に対する育児・介護への関心を高める意識啓発
3. さまざまな分野での女性リーダー登用などの女性活躍推進
4. 育児休業を容認する職場の体制と意識づくり
5. 男性が参加することへの社会的評価の向上
6. その他（)
7. わからない

問 1 5 あなたは介護について、どのように考えますか。（○は1つ）

1. 男女共に担うべきである
2. 女性が介護するほうが良いと思う
3. 男性が介護するほうが良いと思う
4. そもそも男女で分けて考える必要はない
5. その他（)
6. わからない

社会参加活動について

問16 あなたは現在、どのような社会活動に参加していますか。また参加していない場合、その活動への参加についてどう思いますか。（○はそれぞれ1つずつ）

項 目	参加している	参加していない	
		機会があれば参加したい	参加したいと思わない
1. スポーツやレクリエーションなどの活動	1	2	3
2. 審議会など公的委員活動	1	2	3
3. 地域活動（女性会（婦人会）、自治会、消防団など）	1	2	3
4. 子どもの健全育成活動（子ども会、育成会、PTAなど）	1	2	3
5. 国際交流、環境保護、消費者運動などの活動	1	2	3
6. 福祉ボランティア活動	1	2	3
7. 趣味や文化、教養などの学習活動	1	2	3
8. 上記1～7以外で参加している活動（ ）			

問17 社会活動に参加しようとする際に支障となるものは主に何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 時間的な余裕がない 2. 参加の呼びかけがない 3. 一緒に活動する知り合いがいない 4. 組織活動が苦手 5. 活動に費用がかかる 6. どのような活動があるのかわからない 7. 社会活動に関心がない 8. 健康や体力、知識・技能に自信がない 9. 家族の理解や協力がいない 10. その他（ ） 11. 支障となるものはない 12. わからない
--

問18 お住まいの地域(自治会等の地域活動)などで、次のようなことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 会議や行事などで女性は飲食の世話や後片付け、掃除等、裏方の仕事を任されることが多い
2. 会議や行事などで女性が意見を出しにくい、意見が取り上げられない
3. 役員選挙に女性が出にくい、また選ばれにくい
4. 地域の行事に女性が参加しづらい
5. 地域の活動に女性が歓迎される
6. 地域の活動には女性のほうが積極的である
7. 特に男女差はない
8. その他 ()
9. わからない

職業や働き方について

問19 働く上で、支障となることは主にどのようなことだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 家事や育児の負担が大きい
2. 介護の負担が大きい
3. 家族の理解や協力が得られない
4. 育児や介護サービスを受けられる施設が十分でない
5. 職場での男女格差(採用・昇格・昇進・賃金など)
6. 職場において結婚や出産による退職の慣例がある
7. 本人または配偶者の転勤
8. 長時間労働(残業・休日勤務)が多い、年次有給休暇が取りづらい
9. 就職先が少ない
10. その他 ()
11. 支障となることは特にない
12. わからない

問20 男女が共に社会で能力を発揮しながら働き続けるためには、主にどのようなことが重要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事に必要な知識、技術、能力を身につける
2. 「男は仕事、女は家庭」という従来の社会通念が変わる
3. 採用、職場配置、研修などにおいて、男女共同参画の機会均等が確保される
4. 能力や実績に応じた評価(昇給、昇格、賃金等を含む)がなされる
5. 家庭と仕事の両立を図れる制度が充実する(育児休業、時差勤務など)
6. 育児休業や介護休業が取得しやすい職場の理解と協力が得られる
7. 結婚・出産などによりいったん退職した人が同じ職場に復帰できるようになる
8. その他 ()
9. わからない

問 2 1 現在働いている方にお聞きします。あなたの職場で、次のようなことがありますか。

(○は「はい」か「いいえ」のどちらか1つずつ)

項 目	はい	いいえ
1. 賃金に男女差がある	1	2
2. 昇進、昇格に男女差がある	1	2
3. 男性の能力を正當に評価しない	1	2
4. 女性の能力を正當に評価しない	1	2
5. 女性は補助的業務や雑務が多い	1	2
6. 育児休業を取得できない、または取得しにくい	1	2
7. 有給休暇を取得できない、または取得しにくい	1	2
8. ハラスメント（セクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、パタニティ・ハラスメントなど）を受けた経験がある	1	2
9. ハラスメント防止のための規定や相談窓口がない	1	2
10. 結婚や出産すると働き続けにくい雰囲気がある	1	2
11. 女性は定年まで働き続けにくい雰囲気がある	1	2
12. 希望の職種につく機会に男女差がある	1	2
13. 教育や研修を受ける機会に男女差がある	1	2
14. 男性と女性で違いはない	1	2
15. その他（ ）		

問 2 2 女性が働くことについて、あなたはどうかお考えですか。

(○は1つ)

1. 女性は働かないほうがよい	2. 結婚するまでは働くほうがよい
3. 子どもができるまでは働くほうがよい	
4. 子どもができてもずっと働き続けるほうがよい	
5. 子どもができたら仕事をやめ、成長したら再び働くのがよい	
6. そもそも働き方を男女で分けて考える必要はない	
7. その他（ ）	8. わからない

女性の社会参画について

問 2 3 行政や企業、社会的活動などの方針決定への女性の参画を図る上で、どのようなことが大切だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 女性議員を増やす	2. 女性が各分野で活躍し、実績を上げる
3. 女性団体が積極的に活動する	
4. 国・県・市町村など行政の審議会の委員などに女性を増やす	
5. 企業・官公庁で女性管理職を登用する	
6. 職場で男女平等の取組みを進める	
7. 男女雇用機会均等法などの男女平等のための法律や制度を充実する	
8. 自治会や地域の諸団体の長・役員に女性を増やす	
9. その他（ ）	10. わからない

男女共同参画を進めるための取組みについて

問24 これまでに、次の用語や施策を目にしたたり、聞いたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 男女共同参画社会・男女共同参画社会基本法
2. 女性活躍推進法
3. 政治分野における男女共同参画推進に関する法律
4. 女子差別撤廃条約
5. 男女雇用機会均等法
6. 育児・介護休業法
7. DV(配偶者などからの暴力)・デートDV(交際相手などからの暴力)
8. DV防止法(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律)
9. ジェンダー(社会的・文化的につくられた性差)
10. ポジティブ・アクション(積極的改善措置)
11. ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)
12. リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康・権利)
13. セクシュアル・マイノリティ(LGBT)または性的指向・性自認(SOGI)
14. まえばし男女共同参画推進条例
15. 前橋市男女共同参画基本計画(第四次)「まえばしWindプラン2014」
16. 前橋市男女共同参画センター
17. 前橋市男女共同参画情報誌「新樹」(年1回発行 広報まえばしに折込み)
18. 目にしたたり、聞いたことはない

問25 男女共同参画社会を進めるために、市では今後どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 男女共同参画について理解を深めるための意識啓発事業の充実
2. 行政・企業・地域など、あらゆる分野での女性の積極的登用
3. 子育て環境の整備・充実(保育所・放課後児童クラブ(学童保育)など)
4. ひとり親家庭への支援
5. 男女とも育児休業が取得できる職場環境整備の支援
6. 保育所・幼稚園・こども園や学校における男女平等教育の充実
7. 職場における男女の均等な取扱いに関しての企業等への働きかけ
8. 地域活動における男女共同参画の推進
9. 高齢者や障害者に対する介護サービスの充実
10. 男女共同参画に関する学習や活動、情報ネットワークなどの拠点となる施設の設置
11. 女性の就労機会が増えるような情報提供や職業訓練の機会の提供
12. 女性に対するあらゆる暴力の根絶・防止に向けた取組みの強化
13. 防災・復興における男女共同参画の推進(女性の視点での防災・復興体制の強化)
14. 外国人との交流や国際的な取組みの情報提供などによる男女共同参画に関する市民の国際意識の向上
15. セクシュアル・マイノリティも含め、多様性を認め合い、あらゆる人が平等に暮らすための取組みの強化
16. その他()
17. わからない

あなたご自身のことについて（アンケート結果を分析するための質問です）

A あなたの性別は（○は1つ）

1. 男性 2. 女性 3. その他（ ）

B あなたの年齢は（○は1つ）（令和2年4月1日現在）

1. 10歳代（18歳～） 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上

C あなたの職業は（○は1つ）

1. 会社員・団体職員・公務員 2. 自営業（商工業・農林水産業・サービス業など）
3. 学生 4. パート、アルバイト、契約社員など 5. 家事専業
6. 無職 7. その他（ ）

D あなたは結婚されていますか。（○は1つ）

1. していない（未婚・非婚） 2. している（事実婚を含む） 3. していない（離別、死別）

↓
D-1 Dで「2. している（事実婚を含む）」とお答えした方にのみお聞きします。

あなたの配偶者・パートナーの職業はどれですか。 （○は1つ）

1. 会社員・団体職員・公務員 2. 自営業（商工業・農林水産業・サービス業など）
3. 学生 4. パート、アルバイト、契約社員など 5. 家事専業
6. 無職 7. その他（ ）

E あなたには、お子さん（同居していないお子さんを含む）がいますか。（○は1つ）

1. いる 2. いない

↓
E-1 あなたの一番下のお子さん（同居していないお子さんも含む）は、現在おいくつですか。 （○は1つ）

1. 6歳未満 2. 6～12歳 3. 13～18歳 4. 19歳以上

F あなたの世帯状況はどれですか。（○は1つ）

1. 単身世帯（ひとり暮らし） 2. 一世代世帯（夫婦またはパートナーのみ、兄弟姉妹のみ）
3. 二世帯世帯（親と子） 4. 三世帯世帯（親と子と孫など）
5. その他（ ）

■最後に、家庭や職場、地域における男女共同参画について、感じることやご意見等がありましたら、自由にご記入ください。

調査結果はすべて統計的に処理するため、個人が特定されることはございません。

ご協力ありがとうございました